MNC　2015年6月度　公開観察会（NO. 54）

甲山ファミリー自然観察会

◆日時：2015. 6. 21（日）　10：00～14：30　　天気　晴時々曇
◆場所：県立甲山森林公園
◆内容：ウスバカゲロウの一生（アリジゴク）、カラスムギの戦略、カブトエビの脱皮
　　ヤマモモの果実、ナナフシモドキなど、工作：押し花のしおり
◆来場者：62組192人（大人108人、小中生以下84人）
◆スタッフ：武庫ネイチャークラブ　27人（男19人　、女8人）　講座生1人

本日の内容

植物観察会は今が見頃のアジサイやアカメガシワの花を中心に行った。展示ではウスバカゲロウの幼生（アリジゴク）
から成虫に至る過程の実物展示、カラスムギの種子が土に潜る様子の模擬実験、カブトエビが泳ぎ回る様子、

アリジゴク

ナナフシムシモドキ

クスサンの繭

オビガ幼虫

カブトエビ

しおりサンプ

～受付と自然観察～

朝までの雨が観察会開始時刻頃には、ウソの様に晴れ上がっており、絶好の行楽日和に変身していた。
捕虫網と籠を持った子供たちが次々に訪れてくると、「営業部長」の巧みな呼び込みで、アリジゴクの様に引きずり込まれてしまう。そこで用意した「本物のアリジゴク」の出番となる。何も見えない砂の中から、アリジゴク（ウスバカゲロウの幼虫）が突然飛び出してくると、ビックリと感激の大きなどよめきが響き渡った。生き物の戦略ってスゴイと思ってくれたかな？

毎回虫の展示は大賑わい

中学生も興味津々

孫が楽しいと、おばあちゃんも楽しい

マンツーマンで指導を受ける講座実習生

みくるま池畔で、アカメガシワの説明

甲山ファミリー自然観察会の本来の目的である、公園内の観察案内も今月は数件あった。
子供の理科の宿題で、色々な樹木の葉を採取したいので手伝って欲しいとの依頼も飛び込んできた。
お母さんが持ったメモの対象木や、こちらからのお奨めを含め、10種程の採取のお手伝いをしました。

鈴生りになったヤマモモ

今が盛りのアジサイ

～自然工作～
（押し花のしおり作り）

開始時は御客さんもまばらで、講師陣の技量がアップ。
その成果が、その後発揮され来客は笑顔一杯で帰られました。

豊富な栞の材料になる押し花

よくこれだけ集めたものだ

講師陣によるサンプル

「しおり」に取り組む工作室風景

皆さんの作品集

次回の観察会は7月19日（日）です。

文/髙山、森本　写真/髙山、森本　編集/髙山
幹事：大橋

武庫ネイチャークラブ